

2019年度 第38回東日本バレーボール大学選手権大会

競技上の確認事項

(一財) 全日本大学バレーボール連盟
大会競技委員長

1 競技規則

本大会は、2019年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則及び競技要項により実施する。

2 競技日程

競技日程はプログラム記載のとおり、第1日目は代表者会議、開会式、第2日目はグループ戦、第3日目からトーナメント1回戦を行い、第5日目は、準決勝、第6日目は3位決定戦・決勝戦・表彰式・閉会式とする。

3 競技方法

- (1) 競技はグループ戦3セットマッチ、トーナメント戦5セットマッチとする。
- (2) グループ戦は1ボールシステム、トーナメント戦3回戦までは3ボールシステムとして、準々決勝以降は5ボールシステムとする。
- (3) 最終日のみ、競技者交代時にナンバーパドルを使用する。

4 使用球

今大会は、男女ともミカサ製カラーボール「MVA300」を使用する。

5 競技開始時刻

- (1) 第1試合開始時刻は以下の通りとする。

・2日目	グループ戦	10:00～
・3日目	トーナメント 1・2回戦	10:00～
・4日目	トーナメント 3回戦・準々決勝	11:00～
・5日目	トーナメント 準決勝	11:30～
・6日目	トーナメント 3位決定戦・決勝	11:00～
- (2) **第2試合以降の試合**は追込み方式をとるので、試合の進行状況を確認すること。
- (3) 試合開始時刻を15分経過してもチームの選手が6人揃わない場合はその試合を没収とする。
- (4) 大会期間中、グループ戦のプロトコールは全試合11分前、トーナメント戦のプロトコールは第1試合に限り11分前に開始する。
- (5) トーナメント戦第2試合以降は**チームキャプテンが記録用紙にサインした後、10分後**にプロトコールを開始する。なお、同一チームが連続試合または、審判と試合が連続となる場合は**チームキャプテンが記録用紙にサインした後、20分後**にプロトコールを開始する。
- (6) 6月30日の男女3位決定戦は11時開始。両試合終了後、コート設営、その後**10分後**に女子決勝のプロトコールを開始する。男子決勝においてもコート設営後10分後にプロトコールとする。
- (7) 大会期間中、**プロトコール開始10分前**より第1試合の当該チームがコートを優先的に使用できる。
- (7) 待機チームは、前試合チームの挨拶等が終了するまでコートへの入場を禁ずる。

6 公式練習

- (1) 公式練習の時間はグループ戦は全試合3分、トーナメント戦以降第1試合のみ3分、**第2試合**以降は5分とする。

- (2) 公式練習前のウォーミングアップでのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないよう注意すること。(尚、**ボールキーパー**を配置することが出来る。)
- (3) 公式練習にはベンチに着席を認められた部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーと競技者最大14名のみが参加することができる。クイックモップ2名については**ボールキーパー**としての参加を認める。ただし、ユニフォーム以外の統一された服装で参加のこと。
※試合を行っているコートへのボールの進入を防ぐため、審判からの指示に従い、ボールキーパーの人数追加を可能とする。
- (4) 競技中に、プレーしていない競技者はウォーミングアップエリアでボールを使わずにウォームアップすることができる。また、タイムアウト中には、そのコートのフリーゾーンでウォームアップができる。なお、競技者はセット間にもフリーゾーンでボールを使ってウォームアップができる。

7 競技者ユニフォーム

- (1) 連盟ユニフォーム規程どおりの競技者番号をつけた、統一されたユニフォームを着用すること。(シューズを除く)ソックスについて、くるぶしが隠れる長さのもので統一すること。**(ベリーショートソックス着用者は出場を認めない)**
- (2) 連盟のユニフォーム広告に関する規程に従い、事前に連盟を通し(公財)日本バレーボール協会の承認を得たものしか認めない。許可を得ないで表示している場合は、何らかの方法でマスキングすれば、そのユニフォームの着用を認める。

8 チーム構成及びベンチ着席

- (1) チームの構成は、有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャー各1名、競技者最大14名の計19名以内の着席を認める。13名以上の競技者を構成する場合は、必ず2名のリベロプレーヤーをエントリーすること。
- (2) 外国国籍競技者のエントリーは、連盟の加盟・退会及び登録に関する規定第12条による。
- (3) 選手の変更は、競技者番号の変更を含め一切認められない
- (4) エントリーは18名登録とし構成メンバー表は試合ごとに最大14名を選抜し、各チームは前試合の1セット終了時**(第1試合は開始30分前)**までに本部エントリー係に提出し確認を受けること。なお、試合が連続する場合は試合終了後速やかに提出すること。(必ず監督のサインを記入すること)
- (5) ベンチスタッフは直径6cm程度の円台の役職マークを左胸部に付けること。ベンチスタッフの服装は、ジャケットを着用するか、統一されたトレーニングウェアを着用すること。また、部長・監督がジャケットを着て、コーチ・マネージャーがトレーニングウェアを着てもよい。
- (6) (一財)全日本大学バレーボール連盟及び(公財)日本バレーボール協会に有効に登録されていない選手及び本大会にエントリーされていない選手が試合に出場した場合には以下の取り扱いとする。

※試合中、試合終了後に関わらず、発覚した場合は、直ちに没収試合とする。

9 リベロプレーヤー

- (1) リベロプレーヤーは、他の競技者と対照的な色のユニフォームを着用すること。
- (2) リベロプレーヤーは、チームキャプテン及びゲームキャプテンにはなれない。
- (3) リベロはエントリーした選手が13名以上の場合は必ず2名登録しなければならない。エントリーした選手が12名以下の場合0～2名の中で登録できる。

<リベロ再指名の方法>

①監督が、副審に口頭で「リベロの再指名」を要求(ハンドシグナルは示さない)。リベロと再指名される選手は、準備をしてリベロリプレイメントゾーンに立っていないと認められない。(ナンバーパドル使用の場合は持っていること)(アクティngrリベロと同じユニフォームかビブスを着用する)

②副審は吹笛し、スコアラーに再指名であることを口頭で伝える。ハンドシグナルは示さない。

③スコアラーはアシスタントスコアラーに再指名できるか確認し、片方の手を上げる。

④副審は、リベロの再指名を許可する。

⑤スコアラーは、記録用紙のリマーク欄に、アシスタントスコアラーはリベロコントロールシートのコラムにそれぞれの変更を記載する。

※セット間に再指名をしたい時は、監督は副審に伝える。副審は、次のセットのスターティングメンバー確認後、リベロの再指名の手続きを行う。

※リベロとして再指名された選手は、その試合を通じてリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。チームに登録されていたリベロは、その試合に戻ることはできない。

1 0 スタッフの変更手続き

監督・コーチ・マネージャーの変更をする場合は、スタッフ登録者であれば当該会場の競技責任者に申請すれば変更を認める。スタッフ登録のないものは一切認めない。

1 1 学生役員（コートオフィシャル）

【グループ戦】

公式記録員1名、アシスタントスコアラー1名、ラインジャッジ4名、点示2名の計8名とする。第1試合は、第3試合のチームより各4名出し、第2試合以降は前の試合の勝者が担当する。（第3試合が第1・第2試合の勝者同士となる場合は第2試合の両チームで行う。）

【トーナメント戦】

公式記録員1名、アシスタントスコアラー1名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボール・リトリバー6名の計14名とする。人数不足の場合は学連本部へ連絡すること。

・第1試合は、トーナメント表上部のチームが記録員・ラインジャッジ・ボールコントローラーを担当し、トーナメント表下部のチームが点示員・ボール・リトリバーを担当する。

（第3試合が第1・第2試合の勝者同士となる場合は第2試合の両チームで行う。）

・第2試合以降は、前の試合の敗者が担当する。

・29日、30日は学連で手配する。

- (1) 学生役員は担当する試合のプロトコール開始10分前までに速やかに記録席前に集合すること。
- (2) 学生役員の服装はチームで統一すること。また、試合途中の交代はできない。
- (3) 記録員はプロトコール開始前に学連本部より公式記録用紙を受け取ること。
- (4) 点示員は試合前にチームプレート^①を学連本部で受け取ること。試合終了後は学連本部へ返却すること。
- (5) ラインジャッジは審判員の一員として正確なジャッジをすること。
- (6) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (7) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢で、座り込んだり・ぼーっと立ったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはプレイ中ボールを保持すること。
- (8) ボール・コントローラーは、ベンチの反対側に待機し他のコートのボールが入り込んで試合を中断させないようにすること。特にアタック・ライン付近からネット際に転がってくるボールに注意すること。ラリー中は中腰姿勢でおこなうこと。

1 2 フロア・モッピング

- (1) コート内の選手が各自用意しているタオルで、ラリー終了からサービス許可までの間に行うこと。また、クイックモップ^②をおく場合は、チームキャプテンがトスの際に当該審判員に申し出る。
- (2) タイム・アウト中、及びセット間にモップを使用しても構わない。

1 3 練習コート

- (1) 練習コートは設けない。

1 4 国際試合に出場する選手の取扱い

国際試合に（一財）全日本大学バレーボール連盟に所属する選手が選出された場合は、その選手以外

の18名と選出された選手を足した人数でエントリーすること。

1.5 「給水タイムアウト」の取り扱い

熱中症予防の観点から、原則として室内温度が30度以上の場合「給水のためのタイムアウト」を採用する。

各セットにおいてリードするチームが6人制13点最終セットは8点（3セットマッチの場合は13点）で30秒間の給水のタイムアウトが自動的に適用される。

WTOは給水を目的とするものであり、その間選手はウォームアップエリア付近で給水を行う。チームスタッフはベンチに座っていることとし、選手に指示することはできない。

給水を行わなくても同エリア付近にとどまること。

1.6 その他

- (1) ベンチには飲料、救急用具等の必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースは試合中、ベンチには置かず、当該コートフリーゾーン端に置くこと。
- (2) 各チームの応援は、他の観戦者の妨げにならないよう配慮すること。
- (3) 施設内は禁煙です。喫煙については各施設の利用規則を厳守のこと。
- (4) グループ戦において、3チームリーグのシードチームについて、グループ2試合中1勝した時点でシード権は獲得できるものとする。

以上